

『おおいしだめとんとむがすあつたけど』(27)

里の赤鬼 その1

とんと昔、あつたけど。

大石田から半道ぐらい離つた所の山のすそさ、ちっちゃこい村こあつたけど。春先になつと、雪解け水がだつと押し寄せてきて、道路とせきが一続きになつて、わらすだ(子どもたち)、おもで(外)さ出はて遊ぶごどもでぎなぐんなだけけど。ほいづで村の年いった爺んつあが、

「こんであ、わらすだ、おもでさ出はて遊ばんねさげ、みんなしてあそこのせき止めて、堤こしえだらええんねが。」と相談なつたんだけけど。ほしたら、

「はえずあええな。」
「村の人だみんな集まつて、一生けんめい堤こしえだんだけど。」

その堤さ、夏になつと、めだかやどんじよ、ふななど、えつぱいざつこ(小魚)がすむようになつたんだけけど。ほごさ、わらすだ、昔は、釣り竿なのないなで、やなぎの木をおだて(折る)きて、はえずさ木綿糸ぶらさげで、ほの先さめめず(ミミズ)をついで、堤さ入れつと、ざつこだ、食い物くたくて、ばくばく口あいで、みなめめずさ寄つてくんだけけど。ほの寄つてきたのをぶご(竹かご)ですくつて、わらすだ喜んで遊んだもんだだけど。

ほの堤から、少し行くど、ぎん坂な(急な)坂、人登るかんじよすつ鼻つつかえるくらいな坂道あつて、登つていぐど、平らな所さ、赤鬼と青鬼が住んでいだんだけけど。

青鬼は元気が良くて、朝起きつとから、今日は東の山、明日は西の山と毎日、山越え、野を越えて歩き回つていんなだけけど。ほして、山がらスモモどが竹の子など珍しい物を採つてきて、

「今日スモモもいできたがら食え。」

「今日は、竹の子とつてきたがら、かえずんまいはげ食え。」
て言つて、赤鬼に食せでいんなだけけど。

たまには、村の爺んつあや婆んつあだが難儀して作つた、

ごしょ芋(じゃがいも)どが、いちごどが持つて来て、

「かえず、人間の爺んつあや婆んつあが作つたな、んまいはげ食つてみる。」

と言つて、食せんだけけど。

赤鬼は、気やさしくて、おとなしい鬼だつたけど。赤鬼は、ごしょ芋どが、いちごどが、あんまりうまいもんだはげ、爺んつあや婆んつあがら、苗もらたり、作り方を聞いて覚えつたえという心が出でできたんだけけど。

次の日、青鬼さ、

「おれよ、しゃべつたごいごあんなだげんとも。」

と言つたら、青鬼あ、

「何でもしゃべてみる。」

て言うがら、

「俺よ、一人で、こたえして家さえんやんたくてよ。さぶすくてしようないなよ。人間のわらすだど友達になつたえなよ。ほして爺んつあや婆んつあがら、ごしょ芋やいちごの作り方を教えてもらいだいなよ。」

と言つたど。青鬼は、

「何がなご言つてんや。人間の爺んつあど婆んつあ、孫ださ、鬼来た時は、『鬼来たあつて、隣近所さ聞こえるぐらいい大つな声を張り上げて、泣きながら家さ入つて棧かけろ(鍵かけろ)な。ほして、家の人が来るまでせつたい外さ出だめだはげな。村の爺んつあや婆んつあだ、はぎ(ほうき)たがたり、まさがりたがたり、竹竿たがたりして、鬼をばつて(追い払う)けつからな。』て毎日教えでえんなだ。んださげ、わらすだど友達になつたえと思つて、村さ行つたら大変なごになつたさげ、はえずばりすんな。」

て、教えだけけど。(つづく)

○出典『大石田のとんとむがす』
(大石田のとんとむがすの会編集・発行、二〇一九年)

町の人口		令和5年4月1日現在	令和4年度中の異動 R.4.4.1~R.5.3.31
世帯数	2,249戸	(+3)	-20戸
総人口	6,262人	(-39)	-209人
男	3,107人	(-28)	-101人
女	3,155人	(-11)	-108人
(3月中の異動)		令和4年度中の異動 R.4.4.1~R.5.3.31	
出生	1人	転入	12人 19人 94人
死亡	14人	転出	38人 135人 187人

※この人数は外国人も含めたものです。

防災放送の内容を 電話で確認できます

防災放送が聞き取りにくい、放送内容を確認したい等のご意見をいただき、町では防災放送確認ダイヤルサービスを開始しました。

このダイヤルは定時(夕方6時のメロディ等)放送を含め、直近の放送から8時間以内の内容を順次聞くことができます。

確認ダイヤル: 0237-48-8444

■総務課総務グループ Tel.35-2111 (内線218)

大石田町公式アカウント開設

LINEはじめました

防災情報などを
受け取ることができます。

友だち登録を
お願いします!

登録方法

右の二次元コードを読み
取って友だちに追加して
ください。



大石田町公式LINE